

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

ホリエの安中散料

ホリエの安中散料は、漢方処方にしたがって、生薬を配合した煎剤で特異のにおいがある。

安中散料は、体力中等度以下で、慢性に経過する腹痛を訴え、冷え性で、血色すぐれず、腹壁は弾力に乏しくて弛緩し、へそのあたりで動悸が高ぶり、ときに胸やけを訴えたり、口に水が上がつてきたりするもの。また下腹から腰にひきつれるような痛みを訴えるものや、甘味のあるものを好む傾向があるもの、この処方のきく腹痛は、耐えられないほど激しいものではなく、鈍痛のものが多。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと

生後3ヶ月未満の乳児。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (5) むくみのある人。
- (6) 次の診断を受けた人

高血圧、心臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 1カ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

その他の注意

服用に際して、次のことに注意してください。

- (1) 定められた用法・用量を厳守すること。
- (2) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこし去ること。
- (3) 本剤は、必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないこと。
- (4) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (5) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。

【効能・効果】

やせ型で、腹部筋肉が弛緩する傾向にあり、胃痛または腹痛があつて、ときに胸やけ、げっぷ、食欲不振、はきけなどを伴う次の諸症：神経性胃炎、慢性胃炎、胃アトニー^注

《備考》注) 胃腸虚弱

【用法・用量】

本品1袋を和紙袋入りのまま、水約500mLを加えて半量ぐらいまで煎じつめ、和紙袋とともに煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用する。上記は大人の1日量である。ただし小児は下記の用量を服用する。

- | | | | |
|-----------|---------|----------|-----------|
| 15歳未満7歳以上 | 大人量の2/3 | 7歳未満4歳以上 | 大人量の1/2 |
| 4歳未満2歳以上 | 大人量の1/3 | 2歳未満 | 大人量の1/4以下 |

【成分・分量】

本品1袋(1日量) 23.7g中

日局ケイヒ	5.0g	日局ブクリョウ	5.0g	日局エンゴサク	4.0g
日局ボレイ	4.0g	日局ウイキョウ	2.0g	日局シュクシャ	1.5g
日局カンゾウ	1.5g	局外生規リョウキョウ	0.7g		

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 小児の手のとどかない所に保管すること。
- (2) 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (3) 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。

お問い合わせ先

堀江生薬株式会社 お客様相談室

受付時間：9時から17時まで(土、日、祝日を除く)

☎ 06-6231-1890

製造販売元

堀江生薬株式会社

〒639-1031 奈良県大和郡山市今国府町367-1